



**JBIC**

JAPAN BANK FOR INTERNATIONAL COOPERATION

# 環境分野への支援における 地方自治体との連携

国際協力銀行

開発セクター一部 松澤 猛男

# 国際協力銀行 概要

資本金(2002年度末)

国際金融等業務： 9,855億円

海外経済協力業務： 6兆5,043億円

出融資保証残高(2003年度末)

国際金融等業務： 9兆 870億円

海外経済協力業務： 11兆4,790億円

残高計： 21兆3,117億円

職員数(2002年度末)： 883名

# 円借款の重点分野

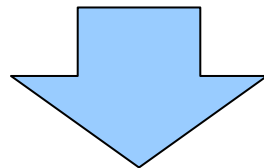
- 貧困削減への対応の強化
- 経済成長に向けた基盤整備
- **環境改善・公害防止への支援**
- 地球規模問題への対応
- 人材育成の支援
- 開発途上国のIT化への支援
- 地方開発への支援

# 環境改善・公害防止への支援

我が国技術の移転や経験の積極的な活用  
都市環境改善への積極的な支援

公害防止施設（大気汚染防止、下水処理、廃棄物処理など）

環境にやさしい生産技術（小環境負荷のリサイクルなど）



豊富な経験をもつ地方自治体等との連携強化

# 都市環境改善への円借款事例

ベトナム：ホーチミン市環境改善事業

中国：河南省大気環境改善事業

中国：安徽省大気環境改善事業

中国：宣昌市水環境改善事業

中国：南寧市水環境改善事業

中国：フフホト市水環境整備事業

インド：ヤムナ川流域諸都市下水等整備事業

スリランカ：ルナワ湖周辺生活環境改善事業

# JBICと自治体の連携

- 国民参加型援助促進セミナー
- 外部専門家としてのアドバイザー業務
- 提案型調査の受託
- 自治体が行う事業への協力

# 国民参加型援助促進セミナー

JBICとの連携を通じた国際協力に関心を有する日本の地方自治体、NGO、民間企業等の団体を対象に、円借款に関する勉強会、および円借款事業の現地視察を行うもの

- ✧ 平成14年度自治体関連参加団体（於：タイ）  
福岡県福岡市、福岡県北九州市、千葉県富浦町、兵庫県朝来町、和歌山県南部川村、高知県馬路村、岐阜県藤橋村、愛媛県今治市、  
（財）北九州国際技術協力協会、（財）国際環境技術移転センター
- ✧ 平成15年度自治体関連参加団体（於：フィリピン）  
水俣市、島原市、八戸市、岡山県、（財）神戸国際協力交流センター

# アドバイザー業務（外部専門家）

派遣依頼や委嘱契約に基づき、円借款業務の様々な段階（案件の発掘、形成、実施、モニタリング、評価）で、自治体職員の方に外部専門家としての助言を依頼

（例）

- ・ 中国の審査ミッション同行（大阪府、大阪市、神戸市、滋賀県等）
- ・ タイの案件実施支援調査へのアドバイス（川崎市、名古屋市等）
- ・ フィリピン環境保全対策（北九州市）



# 大阪府・市による協力

(中国河南省大気環境改善事業・安徽省大気環境改善事業)

## 河南省、安徽省における大気汚染の深刻化

- 経済成長によるエネルギー消費量の急伸長
- 石炭依存度の高さ



## 大気環境の改善

省内で使用される燃料を石炭から  
大気汚染物質の排出量の少ない天然ガスへの転換を目指す。



河南省焦作市内タイヤ工場の煙突

## ➤ 大阪府・市等の職員による協力

大阪府・大阪市が(財)地球環境センターを通じて中国重慶市と1999年より3年にわたって行っていた天然ガス転換事業促進に係る共同研究で得た知見をもとに、同省の大気環境改善に協力

- 大阪府・大阪市・(財)地球環境センターの環境専門家が本行河南省、安徽省を対象とした環境円借款の調査ミッションに同行
- 同省が掲げる環境改善目標達成のための提言  
→シミュレーション技術等を駆使した科学的手法による大気汚染物質削減計画の推進

# 神戸市による協力

(中国宜昌市水環境改善事業)

## 神戸市と長江中流域との交易・友好関係

- 国境を越えた広域間交流による経済復興をめざす
- 長江中流域の湖北省（省都：武漢市）に事務所開設

## 長江流域の水質汚染の深刻化

- 湖北省2番目の都市である宜昌市では、現在下水処理場がないため汚水が直接長江へ流され水質汚染の原因の一つに
- 汚染物質が東シナ海に流れ込み、我が国近海の海洋環境にも影響

## ➤ 神戸市職員による協力

- 神戸市の環境専門家がアドバイザーとして宜昌市を対象とした環境円借款の調査に同行
- 長江の水質汚染の状況を確認し、宜昌市に対し総合的水管理に関する助言



中国側に報告書をわたす神戸市の  
環境専門家（左）

# 熊本県による協力

(中国南寧市水環境改善事業)

## 熊本県と中国広西壮族自治区との友好関係

- 各種交流事業や、洪水被害への支援事業の実施
- ### 南寧市の水環境問題
- 広西壮族自治区の区都である南寧市では、  
下水処理率が約20%
  - 市内水路の容量不足による、雨季の洪水被害



現地調査を行う熊本県の洪水制御専門家(中)

## ➤ 熊本県職員による協力

- 南寧市内の河川水質改善策及び洪水対策について、県の洪水制御専門家が  
アドバイザーとして南寧市を対象とした環境円借款の調査ミッションに同行
- 市内河川の水質改善策及び洪水対策について提言
  - 都市計画の観点から、都市化が進展する南寧市で洪水対策は非常に重要であり、また、生態系の復元のためにも、河川整備による環境改善が必要
  - 南寧市の都市開発計画は、環境改善のみならず、将来の環境悪化を未然に防ぐ方向で作成されている

# 富山県による協力

## (フフホト市水環境改善事業)

### 環境問題に対する協力体制

- 富山県では、環日本海環境協力センターという有力な組織を有し、日本海の海洋汚染が深刻化している状況に抗し、中国に起因する環境問題の解決のためにも、積極的に協力を実施。

### フフホト市の水質汚染の深刻化

- 内蒙古自治区の区都であるフフホト市では、近年の急速な工業化及び都市化の進展に伴い、生活排水・工業廃水が急増。その一方で下水処理率は低く、市内を流れる河川の水質は国の基準で最低ランク。

### ➤ 富山県職員による協力

- フフホト市の市内河川の水質改善策について協力するため、富山県の専門家がアドバイザーとして、環境円借款の調査ミッションに同行。
- 事業の運営管理(需要想定、料金設定、処理水の再利用等)、環境モニタリングの必要性・工夫につき、富山県の実例を踏まえ提言。



フフホト市内河川敷の様子、ゴミが堆積

# 川崎市、名古屋市等による協力

(タイ王国 環境保全基金支援事業)

環境保全基金とは。。

タイ天然資源環境省下に設置された環境保全を目的とした環境保全基金を通じて地方自治体を実施する廃棄物処理下水道処理の整備を支援するもの

## ➤ 自治体職員による協力

- 川崎市、名古屋市、大阪市、北九州市から参加した廃棄物処理及び下水道処理の専門家によるタイの地方自治体における現場での指導・相談
- バンコクで開催されたワークショップにおいて、料金徴収等に関する日本の事例・経験の紹介

# 提案型調査の受託

JBICが国別に設定した調査テーマに対し  
日本国内の団体等からのご提案に基づいて、  
円借款全般への知見・情報の蓄積を図るた  
めの調査

大学、地方公共団体、NGO等からの提案  
を強く推奨し、評価にあたっては考慮

(例) 廃棄物処理システム確立に係る調査(北九州市)

# 「廃棄物処理システムの確立」

## 調査の背景・問題意識

途上国では都市の経済発展、住民生活向上に伴い、ごみ問題および水質汚濁問題が深刻となっている。  
中国の重慶市とインドネシアのスラバヤ市は、水質汚濁問題に既に着手しているものの、ごみ問題について未だ手付かずに近い状態であった。

## ➤ 北九州市の調査結果・提案

2都市の廃棄物の減量化／リサイクルの促進及び適切な廃棄物処理システムの確立のため、

- ①社会経済状況等両市の基礎情報の確認
- ②両市における廃棄物処理の現状及び課題の整理
- ③廃棄物の適正処理及び減量化・資源化のためのシステム構築と効果的実施のための提案、
- ④我が国の廃棄物処理に関する技術の紹介・助言

# 自治体が行う事業への協力

自治体が行う国際協力事業の中で、JBIC  
が参加・協力できる分野について支援す  
るもの

(例)

神奈川県国際環境協力協議会主催の環境研修セミナーにお  
ける協力(タイ・ベトナム)



# 神奈川県関連団体との協力①

(ベトナム ハノイJBICセミナー)

## 神奈川県の活動

- 京浜工業地帯の企業とタイアップした「環境改善セミナー」をタイ、ベトナムでそれぞれ年1回実施
- 昨年の「地方自治体-国際協力銀行連携フォーラム」の資料を見てJBICとの連携の可能性を打診

## JBICの動き

- 各自治体との連携の重視
- ベトナムにおけるJBIC関連機関の環境配慮に対する関心の高まり

## ➤ 神奈川県国際環境協力協議会職員による協力

- ベトナム中小企業を対象としたツーステップローン(TSL)\* 審査金融機関職員を対象としたセミナーに参加し、環境管理のノウハウについて講演
- 本行主催セミナーを通じた、環境行政技術の移転

ツーステップローン(TSL): 開発途上国内の開発金融機関を通じて、途上国の中小企業、農家、組合等に対する金融支援を行う為の借款。

# 神奈川県関連団体との協力②

(タイにおける神奈川県環境セミナー)

## 神奈川県の活動

- 環境対策に対する積極的な取り組み
- 環境対策に熱心な市自治体やNGO団体とのネットワークを有する

## JBICの動き

- 各自治体との連携の重視
- 「環境改善」は対タイ援助における重点分野(経済協力業務実施方針)

## ➤ JBIC参画による協力

- 在タイ日系企業に本セミナーへの参加呼びかけ
- 本行活動に理解を深めてもらい、案件進捗を促す
- 環境事業に係る能力開発を支援
  - リサイクル事業に積極的な横須賀市、川崎市の職員派遣(神奈川県が選定)
- 環境対策における市民団体の参画支援
  - 神奈川県を代表するNGO2団体の代表派遣

# 地方自治体への期待

- 途上国地方自治体の総合的な能力向上
  - 地域社会のニーズ把握
  - 広いステークホルダーとの意見調整
  - 持続的財政制度
  - 透明性の高い説明責任
- 日本国民のODAへの積極的参加
  - 日本の経験・知見の対外発信
  - 世界に開かれた市民社会の形成